

Area Guidemap

築地

TSUKIJI

明石町
浜離宮庭園

湊
新川

入船
八丁堀

新富
築地



隅田川に面した埋立地（築地） 文化の発展に深く関わるエリア

江戸から東京へと移り変わる経済・文化の軌跡を感じることのできる「築地」。江戸時代“八丁堀の旦那”と呼ばれた江戸町奉行所の与力・同心の居住地であった「八丁堀」。「明石町」には明治2年(1869)に外国人居留地が置かれ、西洋文化の窓口として発展しました。国指定特別名勝・特別史跡の「浜離宮恩賜庭園」は、いまなお江戸時代の大名庭園の特色を残し、風光明媚な都会のオアシスとして、四季を通じて多くの人々が訪れます。隣接する築地市場跡地については、5万人を収容できる多機能型スタジアムやMICE施設の整備計画などが発表され、周辺地域と一帯となった築地ブランドを発信しながら、広域的な交通結節機能を有する整備が進められる予定です。

築地の由来と今

中央区役所の所在地である築地。

「築地」の地名は本願寺の移転再建の際に江戸湊を埋め立て“築いた土地”であることに由来しています。築地本願寺のすぐ側にあった築地市場は、平成30年(2018)に豊洲へ移転しましたが、築地場外市場や生鮮市場「築地魚河岸」等、以前と変わらぬ賑わいをみせています。



Googleマイマップはこちらから

はじめて物語

B-2 MAP 末広手巻き発祥の店

- 現 築地玉寿司 (所 築地1-9-4)
発 昭和46年(1971)

三代目社長中野里孝正が、当時若者の間で流行っていたソフトクリームをイメージし、片手に持って海苔がパリパリのうちに食べられるよう末広型にしたのが、はじまりと言われています。



C-2 MAP 小豆餡入り饅頭発祥の店

- 現 塩瀬総本家 (所 明石町7-14)
発 貞和5年(1349)頃

中国から来日した初代林浄因が奈良に居を構え、肉食の許されていない僧侶のために、日本ではじめて小豆餡入りの饅頭を作り提供したところ大評判となったものがはじまりです。

B-1 MAP どら焼き発祥の店

- 現 梅花亭 (所 新川2-1-4(本店))
発 創業嘉永3年(1850)

隅田川を往来する御座船に載った銅鑼の形から発想を得て生み出され、現在の一般的などら焼きとは形が異なり、銅鑼の形をイメージした一枚皮のどら焼きが特徴。昔ながらの手法にこだわり今もひとつ、ひとつ職人の手で作られています。

B-3 MAP 活字発祥の地

- 現 記念碑 (所 築地1-12)
発 明治6年(1873)

幕末に日本語の活字を開発した本木昌造の門人平野富二が、東京築地活版製造所を興し活字のほか印刷機械等も製作販売しました。

B-2 MAP 芥川龍之介生誕の地

- 現 記念碑 (所 明石町10(聖路加国際大学付近))
発 明治25年(1892)

夏目漱石門下で、「鼻」「羅生門」「河童」「或阿呆の一生」などの数多くの文学作品を残した近代文豪の一人芥川龍之介(1892～1927年)は現在の明石町で生まれました。

C-2 MAP 指紋研究発祥の地

- 現 記念碑 (所 明石町8先(聖路加ガーデン付近))
発 明治7年(1874)

宣教師で医師でもあったイギリス人ヘンリー・フォールズは、日本にある拇印の習慣に興味を持ち、さらに、古代人の指紋をヒントに科学的な指紋研究を行いました。



B-3 MAP 海軍発祥の地

- 現 ※現在、市場跡地整備のため見学不可。
所 築地5 (発 明治5年(1872))

維新後、幕府の軍艦操練所の地(旧中央卸売市場築地市場)は海軍省の管轄に置かれ、海軍省や海軍操練所(海軍兵学寮の前身)が設置されました。

B-3 MAP 運動会発祥の地

- 現 国立がんセンター界隈 (所 築地5)
発 明治7年(1874)

明治7年、海軍兵学寮の教師として来日したお雇い外国人であるイギリス軍人アーチボルト・ルシアス・ダグラスが提案したアスレチックスポーツが最初といわれています。短中距離走や二人三脚、走り高飛びや豚追い競争などの種目があったようです。

A-3 MAP 日本国海図及び海洋調査発祥の地

- 現 記念碑 (所 築地5-3-1)
発 明治4年(1871)

明治4年、船舶が安全に航海するため海図の整備が急務であると考え、兵部省海軍部水路局を現在の東京都中央区築地に創設し、外国人に頼らず独力で海洋調査を行って日本国として初めての海図を作製しました。これらの業務は海上保安庁海洋情報部に引き継がれ、現在も続けられています。平成23年(2011)、海洋情報部は移転しましたが、長い歴史を刻んだ築地の地を発祥の地として後世に伝えています。

掲載のほかにもGoogleマイマップなら、区内のさまざまな「はじめて物語」をご覧ください。

靴業発祥の地

東京税関発祥の地

救世軍渡来の地

電信創業の地

雙葉学園発祥の地

女子聖学院発祥の地

青山学院記念の地

明治学院発祥の地

立教学院発祥の地

女子学院発祥の地

慶應義塾発祥の地

蘭学事始の地

東京盲啞学校発祥の地・日本点字制定の地

工学院大学発祥の地

船員教育発祥の地

中央商業学校発祥の地

……など

TSUKIJI Events Guide

築地イベントガイド

1月第2日曜日

寒中水浴大会



4月上旬

はなまつり(築地本願寺)

4月下旬

築地春まつり

5月上旬

鐵砲洲稻荷神社
例大祭



6月上旬

つきじ獅子祭



8月上旬

築地本願寺
納涼盆踊り大会



8月中旬

深川八幡祭り
(新川&箱崎)

10月上旬～(約1ヶ月)

中央区観光
商業まつり



イベントガイド掲載内容については、日程・内容が変更となる場合があります。最新情報は主催元のホームページ等をご確認ください。



中央区
まちがど
展示館



ミズノプリंटینگミュージアム

管理者：ミズノプリテック
株式会社

文明発展に寄与した
“印刷”の真価を観る

住所：中央区入船2-9-2
ミズノプリテック(株) 6F



のれん・提灯・下絵の展示館

管理者：有限会社津多屋商店

粋な江戸文字を
現代につなぐ

住所：中央区築地6-5-5



足袋の博物館

管理者：有限会社
大野屋總本店

足元で極める
装いの美学を知る

住所：中央区新富2-2-1



【お問い合わせ】

中央区まちがど展示館運営協議会
(中央区区民部文化・生涯学習課内)
TEL:03-3546-5346



Highlights of TSUKIJI

築地の見どころ

● 浜離宮恩賜庭園

mapA-4,B-4

(国指定特別名勝・特別史跡)

将軍家の別邸で大名庭園の面影を現代に伝える潮入りの池と鴨場を備える庭園です。江戸時代初期は将軍家の鷹狩り場でしたが、甲府藩主の徳川綱重が、四代将軍家綱から拝領して下屋敷としてからは甲府浜屋敷と呼ばれるようになりました。さらにこの後、六代将軍家宣になってからは浜御殿と称される将軍家の別邸となりました。

明治3年(1870)、宮内省の所管となって、浜離宮と改称し、皇室宴遊の地として使われました。戦後は一般に開放され、昭和27年(1952)には国の特別名勝および特別史跡に指定されました。



● 築地本願寺(国指定重要文化財)

mapB-3

元和3年(1617)に創建された京都西本願寺の直轄寺院。当初の坊舎は横山町付近にありましたが、明暦の大火で焼失し、延宝7年(1679)に築地の地に御坊が落成しました。関東大震災により被災した本堂は、昭和9年(1934)に伊東忠太の設計により古代インド様式の石造建造物として再建され、平成26年(2014)には国の重要文化財に指定されました。



● 波除稲荷神社

mapB-3

万治年間(1658~61)、波浪により築地一帯の埋め立てに困難を極めた工事を完成に導いたという故事から創建された神社といわれています。波除稲荷神社の天水鉢と雌雄一對の獅子頭はともに区民有形民俗文化財に登録されています。同神社のお祭りは、江戸時代から「獅子祭」として有名で、現在も3年に一度の『つきじ獅子祭』本祭で、宮神輿と2つの大獅子のうち、いずれか2基が担がれて築地地区を巡行します。



勝関の渡し

mapB-3

明治中期、月島は工業地帯として活況を呈し、月島の渡しは徹夜渡船を必要とするまでになっていました。このため、明治38年(1905)、京橋区の有志が旅順陥落を記念して、新たな渡船場を開設し、戦勝にちなんでここを「かちどきの渡し」と名付けました。この渡しは昭和15年(1940)6月、勝関橋完成と同時に廃止され、今は石碑が建てられています。



築地場外市場

mapB-3

旧東京都中央卸売市場築地市場に隣接する商店街。生鮮食品だけでなく寿司店や洋食などの飲食店、飲食関係の商品を扱う店舗などがおよそ400店舗が軒を連ね、一般客も自由に買い物を楽しめます。

築地魚河岸

mapB-3

築地市場移転後も築地の活気とにぎわいを将来に向けて継承するため、中央区が設置した、仲卸を経営母体とした小売店約60軒が入居する生鮮市場です。1階では新鮮かつ多品種・高品質の水産物と青果物を販売し、3階ではフードコート形式の魚河岸食堂を営業しています。



かちどき橋の資料館

mapB-3

橋を開閉するために使用していた変電所を改修し、勝関橋をはじめ隅田川の橋について、貴重な資料や関連情報等を展示・公開しています。

ガス街灯の柱

mapB-2

コリント式の鉄製製の柱は、明治末年頃のものと推定されています。明治初期には夕方になると点火手が長い棒の先に鍵と点火具をつけて、ランプの底を開いて点火してまわり、明け方にはガスのバルブを閉じて消して歩いたといわれています。東京の都市ガス事業は明治7年(1874)に始まり、当時、ガス街灯は異国情緒あふれる銀座の、あるいは外国人居留地の風物詩でした。



波除稻荷神社

mapB-3

まち歩きコース

①

築地おすすめポイント



築地本願寺

mapB-3

(国指定重要文化財)

蘭学事始の地

mapB-2

カトリック築地教会聖堂

(区民有形文化財)

mapB-2

長崎、横浜に次ぐキリスト教会として明治7年(1874)に築地外国人居留地内に建設されました。聖堂は明治11年(1878)に創建されましたが、関東大震災で焼失したため、昭和2年(1927)パリにある聖マグダレナ天主堂を参考に、ギリシャ神殿バルテノン様式で建てられました。



トイスラー記念館

mapB-2

(区民有形文化財)

トイスラー記念館は、昭和8年(1933)に聖路加国際病院の宣教師館として建設されました。鉄筋コンクリート造2階建てで、外観は柱や梁などの骨組みを表現した意匠を持ち、重厚な木の内装や階段廻りのデザインに特徴があります。平成10年(1998)に移築復元され、創建当時の姿を今に伝えています。



シーボルトの胸像

(あかつき公園)

mapC-3

あかつき公園内には、幕末、日本の蘭学発展に貢献したシーボルトの胸像があります。この場所は江戸蘭学発祥の地であり、また長崎で授かった娘のいねが築地に産院を開業したことなどのゆかりから、彼の功績を称え像が建てられました。



堀部安兵衛武庸之碑

mapB-1

赤穂義士・堀部安兵衛武庸は、当時の京橋水谷町(現在の銀座一丁目)に居住し、剣道の達人として知られていました。元禄7年(1694)、有名な高田馬場の仇討ちで彼の武勇は江戸中に伝わり、浅野家家臣の堀部弥兵衛の嫡養子となり四十七士の一人として吉良邸の討ち入りに参加しました。昭和44年(1969)、八丁堀一丁目町会により亀島橋のたもとに石碑が建立されました。



霊岸橋

mapB-1

橋の創架は江戸時代初期で、現在の橋は昭和60年(1985)に架け替えられました。新川一帯はかつて葦の生い茂る低湿地帯でした。寛永元年(1624)霊巖雄誓上人が法力をもって築造し霊巖寺が建立されたことから霊岸島という名称がついたといわれています。

河村瑞賢屋敷跡

mapB-1

河村瑞賢は、安治川、淀川、中津川の治水工事に尽力したり、幕府の名を受けて東廻り・西廻り航路を開発し海運の発展に貢献しました。明暦の大火では、木曾の木材を買い占めて巨利を得たことでも有名で、霊岸島一円(現在の新川一丁目)に屋敷があったといわれ、跡地に説明板が設置されています。

豊海橋(区民有形文化財)

mapC-1

日本橋川が隅田川に注ぐ河口部に架かる橋で、現在の橋は昭和2年(1927)に完成しました。



永代橋(国指定重要文化財)

mapC-1

五代將軍徳川綱吉の50歳を祝して創架されたともいわれ、元々は現在の位置より150mほど上流にありました。現在の橋は大正15年(1926)建造のアーチ橋。日没後はブルーにライトアップされた美しい姿を鑑賞できます。



まち歩きコース

②

築地おすすめポイント



鐵砲洲稲荷神社

mapB-2

江戸時代は稲荷橋近くの河岸地にあり、諸国の廻船が出入りする湊に位置していたことから「湊稲荷」と呼ばれていました。明治元年(1868)に、築地外国人居留地が開設された関係で現在地に移転しました。毎年1月には「寒中水浴大会」が行われ、禊払いと無病息災を祈願しています。また、5月には例大祭が行われます。



南高橋

mapB-1

震災復興事業により、旧両国橋の中央部分を移築・補強して再利用した橋です。



霊岸島検潮所・量水標跡

mapC-1

東京近郊で標高を求める際は、明治6年(1873)隅田川河口に設置された霊岸島検潮所で観測された東京湾の平均潮位を基準としました。現在の霊岸島水位観測所は、平成6年(1994)約36m下流に移設され、跡地にはシンボル柱が設置されています。



於岩稲荷田宮神社

mapB-1

戯曲「東海道四谷怪談」の主人公・お岩の伝承を持つ神社で、明治12年(1879)に創建されました。本殿横にある石鳥居は明治30年創設時のままで、また境内の百度石は大阪浪花座でお岩を演じた四代目市川右団次が奉納した区内で最古の百度石として知られ、鳥居ともに区民有形民俗文化財に登録されています。





Google マップ

Google マップでまち歩き
コースを持ち歩こう

+ フォローする

をタップして保存できます。

コース ①



コース ②



Tokyo Chuo City
Tourist Information Center
中央区観光情報センター



外国人を含む旅行者に、
東京・中央区の魅力を発信する
インフォメーションセンターです。
お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 東京都中央区京橋2-2-1「京橋エドグラン」内地下1階
- TEL 03-6262-6481
- 開館時間 9:00~21:00
- 休館日 年中無休
- HP <https://centraltokyo-tourism.com>



中央区観光協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-25-3 京橋プラザ 3 階
TEL 03-6228-7907

中央区観光協会 ホームページ

www.chuo-kanko.or.jp

観光おもてなしスタッフが案内する
おすすめガイド付コース
お申込みはこちら



Japan.
Endless
Discovery.



TOKYO

